河小だより

四日市市立河原田小学校
学校通信　第３８号
令和5年　2月27日(月)
文責　校長　鳥居　純樹

令和４年度も残すところ約１か月となりました。本日６年生を送る会を開催し、６年生の卒業をお祝いするとともに６年生が創り上げた河原田小学校の伝統を引き継ぐことを５年生に校旗を継承することで誓いました。令和５年度に向けて、学年が進級するにあたり、自覚と責任をそれぞれが持てるように学年に応じて指導していきたいと思います。

図書予算の寄贈

四日市市の伊藤製作所社長伊藤澄夫さんから四日市市内の学校に図書購入費用として１０万円をいただき、そのお金で新しい図書を購入させていただきました。伊藤さんは３年間四日市市の学校に図書の寄贈をいただいていて「若い人の読書離れはよくない」と話されていました。

本校でも活字離れが進んでいます。新しい本が並ぶことで、子どもたちの読書に対する興味関心が高まることを期待しています。

本校では、個の寄贈予算で「ジブン未来図鑑」「わたしたちのくらしと国土」など全 13 冊を新たに購入し、図書室の新刊コーナーに並べます。読書を通してさまざまなことに興味を持ち、書物等で調べることで学びを深めていくことを期待しています。

特別支援学級学習発表会

なかよし学級の子どもたちが２月 17 日（金）四日市市文化会館で行われた三泗小中学校特別支援学級学習発表会に参加しました。学習発表会はコロナ禍の影響で３年ぶりの対面での開催となりました。感染対策の関係上、３部制になっていて、本校は第２部の開会行事がおわりトップバッターで発表しました。大きな舞台で緊張したと思いますが、いつも通り笑顔で楽しくボディパーカッション&カスタネットで「ドラえもん」の発表をしました。発表後は、大きな拍手をいただき、子どもたちも満足そうな表情でした。

同時に行われていた作品展示では、ロール紙を切って工夫して貼った作品をたくさんの人に見ていただきました。子どもたちの発表は、６年生を送る会でも披露しました。

なかよし学級の作品展示（上）
発表前の緊張した様子（下）
堂々としたステージでの発表（左）

体育科公開研究会

２月 17 日（金）三重県学校体育研究連合会の共催を受け、体育科の公開研究会を行いました。６年 B 組の体育科ボール運動ゴール型の「運んで入れろ、ショット、ショット、ショット！」の授業を参観していただきました。

子どもたちは、ボールをゴール前に運ぶ、相手にとられないように空間を見つけてパスを出すことを意識しながらゲームを進めていきました。ゲーム中心に進めた授業だったので、ゲーム後は肩で息をしている子も多く、45 分間走り続けることができた授業でした。

本校の新体力テストの課題として、敏捷性、持久力が課題でしたが、今回の授業ができれば、子どもたちの体力も自ずとついてくることと信じています。授業での子どもたちが 45 分間楽しく活動できるようにこれからも体育の授業を工夫していきたいと考えています。

将来の目標に向けて

６年生の子どもたちと授業をさせていただく機会があり、将来の夢や目標に向かって具体的にどんなことを目標として実践していくのかを考えました。

メジャーリーガーとして活躍している大谷翔平選手が高校１年生の時に作成した目標シートを子どもたちに提示し、中心に将来の目標を書き、そのために必要な力を ８ つ、必要な力をつけるための具体的な行動目標を８つ記入しました。自分の夢に向かって現段階でするべきことをしっかり考えることができました。具体的な夢や目標が持てない子もいて中学校での部活等での目標にして作成しました。

どんな仕事に就くにしても学校での学習が基礎となります。また人と関わる仕事がほとんどなので、あいさつやコミュニケーションが大切となります。６年生の今、一生懸命取り組んでいることに無駄はありません。時間を大切にしながら自分の目標に向かって日々の積み重ねを大切にしてほしいと思います。

第 5 回 CS 運営協議会

２月 21 日（火）第５回 CS 運営協議会を開催しました、今年度もコロナ感染症の影響で運営委員さんには子どもたちの活動の様子を十分見ていただくことができませんでした。地域の様子や地域での情報や子どもたちの様子からご意見をたくさんいただきました。

コロナ禍で地域の教材や人材を活用した取り組みがあまりできなかった現状に対して次年度以降、地域人材を活用してのボランティア活動などの協力体制をとっていただくよう協議しました。地域の方も子どもたちの活動に対して少しでも力になれるよう考えていることがよくわかりありがたく感じました。コロナウイルスも第５類に移行するにあたり、地域での学習を通して地域の人たちの誇りをもって働く姿や地域への愛情を理解するとともに子どもたちにも河原田地区への郷土愛を育てていきたいと考えています。